

町の話題

数え100歳 百寿のお祝い



佐藤きぬさん

満99歳を迎えた佐藤きぬさん（^⑨石浜）に、2月1日（月）、町から百寿のお祝い金などが送されました。

きぬさんは、1男1女の長女として歌津の石浜地区で生まれ育ち、5人の子ども、10人の孫、9人のひ孫、そして、1人の玄孫に恵まれました。^{やしゃこ}

農業や地区の若布作業の手伝いなどをして家計を支え、85歳になるまでは豆腐の行商もしていたそうです。現在は、車椅子での移動を余儀なくされていますが、昔から体が丈夫で、ご近所をまわってのお茶飲みや大好きな踊りなどを楽しみに暮らしていました。今一番の楽しみは、栗原市の志波姫から毎月訪ねてくる、ひ孫の菅原里美さんと、その子どものさくらちゃんに会うことだそうです。

これからも、ますます元気にお過ごしください。



毎月訪れるという玄孫のさくらちゃんとのツーショット

須藤フユミさん

満99歳を迎えた須藤フユミさん（^⑩長清水）に、2月15日（月）、町から百寿のお祝い金などが送られました。

フユミさんは旧北上町の大指出身で、18歳のときに長清水の須藤家に嫁ぎ、5人の子ども、15人の孫、20人のひ孫、そして、4人の玄孫に恵まれました。

旦那さんの体が弱かったため、ご飯を食べる暇も惜しんで働き、海産物の行商では、30キロもある荷物を背負い、横山峠を越えて登米方面まで歩いて行ったそうです。家庭を支えなければならないという責任感から、とても気丈な性格であったといいますが、仕事で家を離れている、ひ孫の心配ばかりしており、実家に帰って顔を見せるのを楽しみにしています。

これからも、ますます元気にお過ごしください。



体調を崩して入院中ですが、町長から声をかけられると笑顔で話をしていました



いっしょに遊んだよ！



巨大なボールに子どもたちもびっくり！うまくできるかな？

クラッチーナが応援するなか、重い杵を持ってペッタンコ！



海の仕事は大変だね

2月3日（水）、名足小学校の4年生30人が、泊浜漁港で「ホタテの分散」の仕事を体験しました。

この体験は、総合的な学習の一環として、親や地域の人たちの仕事を理解することを目的に行われたもので、4センチほどのホタテがたくさん入ったカゴから、15個ずつ取り分けてネットに入れ、ホタテが育ちやすい環境を作つてあげました。

この日、体験した高橋孝平さん（^⑨泊浜）は、「家でもホタテの仕事をしていますが、海の仕事は大変だなあと思いました。これからは、家の仕事を少しでも手伝っていきたいと思います」と、話してくれました。



ご褒美としてホタテ汁が振舞われました

ちゃんとタコも獲れました

屋外タイプの喫煙所が寄贈

迫たばこ販売協同組合と日本たばこ産業石巻営業所から屋外タイプの喫煙所が寄贈され、役場防災対策庁舎の側に設置されました。

日本たばこ産業では、たばこを吸う人と吸わない人双方に配慮した環境づくりを推進し、喫煙マナーの向上に取り組んでいます。

町では、これを機会に、改めて庁舎内の喫煙場所の見直しを図り、庁舎の外に設置していたスタンド型の灰皿を4箇所撤去し、寄贈された喫煙場所に集約しました。今後も、さらなる分煙化を進めたいと考えています。



2月9日（火）に行われた贈呈式の様子



三浦家の皆さんと記念撮影

1月28日（木）、ユニークなキャラクターでテレビなどで活躍しているさかなくんが、テレビの撮影で寄木漁港を訪れました。

今回の撮影は、KHB東日本放送企画したもので、おいしい寿司ネタを求めて、宮城県の代表的な港町である気仙沼市、南三陸町、塩竈市をさかなくん一行が旅をするというものです。

当町での目的は新鮮なタコ！また寄木漁港で仕事をしていた三浦義昭さん（^⑩町向）が全面的に協力することになり、一緒に船に乗ってタコ網を仕掛けた後は、1月から農漁家民宿を始めた三浦さん宅に宿泊しました。最高のおもてなしを受けたさかなくんは、心も体も温まって次の撮影場所に出発したようです。この日の様子は、3月1日（月）午後7時から、「絶品の味にギョギョ！！気仙沼発！三陸寿司海道」という番組で放送されます。